

養護学校における基礎・基本の定着を目指す Web 学習

—全寮制肢体不自由養護学校における生徒の自主学習のためのネットワーク支援—

兵庫県立播磨養護学校・教諭 田中 好國

yotanaka@hyogo-c.ed.jp

キーワード：養護学校， eb 学習， 全寮制， 自主学習， ネットワーク， 肢体不自由

1. はじめに

肢体に障害のある生徒に、コンピュータや情報通信ネットワークを活用して学校や寄宿舎で「いつでも、どこでも、自由に」自学自習ができるように校内ネットワーク（イントラネットサーバ）上に「自学自習室（基礎・基本の Web 学習サイト）」コーナーを置き、本校生の実態や課題に応じた内容・レベルの Web 教材を提供し、生徒が自ら主体的に学習する姿勢を育むことを本企画の目的とする。ここでは、生徒が寄宿舎の夜間自由時間や学校の自習時間、部活動などにおいて本企画の Web 学習コーナーを利用して学習した状況について報告を行う。

2. 本校の概要と生徒の実態

(1) 学校の特徴

兵庫県には 14 校 1 分教室の肢体不自由養護学校があり、人口密集地の神戸・阪神地区には市立の学校が多く、県立の学校は県北部と西部にある（神戸市にも病院併設の学校がある）。本校は県西部にあり、中学部と高等部をもつ、創立以来全寮制の学校であるところに大きな特色を有している。生徒は日曜日の夕方までに寄宿舎に入り、金曜日の放課後に自宅へ帰る。その間、全生徒が校舎に隣接している寄宿舎で共同生活をしている。

(2) 生徒の実態と進路

本校は全寮制なので生徒は最低限の身の自立ができています。他の肢体不自由養護学校に比べると単一障害の生徒も多く、医療的ケアの必要な生徒はいない。移動はほとんどの生徒が自力で可能であり、教育課程的にも中学校・高等学校に準ずるコースが毎年設置され、高等部卒業生は四年制大学・短大、職業訓練校や一般企業に就職する者も多い。

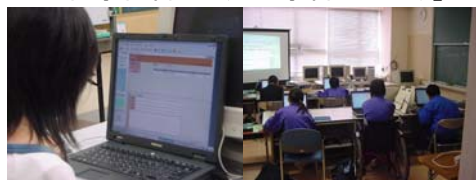


3. 「自学自習室（Web 学習サイト）」コーナーの内容 【図 1】イントラネット上の自学自習コーナー

本校生の通学時間はゼロである。学習しようと思えば寄宿舎の居室の他に自習室も完備し、学校の教室も身近にあり、学習の環境は優れているといえる。しかし、近年は重複障害の生徒も増え、寄宿舎での学習雰囲気低下で自主的に勉強しない（できない）生徒が増えてきた。そこで、自分で繰り返し学習することで基礎・基本の定着を目指して、学習リンク集や自作問題を「自学自習」コーナーに収録した（【図 1】）。

内容的には、本校のあらゆる生徒が利用できるようにレベル別、学習熟度に対応した内容を積極的に収録した。さらに、進学用や一般就職用、運転免許問題など生徒の生きる力につながる進路用の内容も収録し、自分の課題に応じた学習を行えるように工夫した。また、Web で学習するためのネットワーク環境については、本校は十分に完備しているのでとくに本企画のために特別な整備は行わなかった。

4. 「自学自習室（Web 学習サイト）」コーナーを利用した生徒の状況



【写真 1】自由時間 【写真 2】自習時間

(1) 夜間の自習時間での利用

【写真 1】は、寄宿舎の夜間自由時間に情報基礎室を開放して自主学習を行った生徒である。将来の進路のために、とくに漢字学習や計算練習サイトを利用していた。Web 学習では答えが瞬時に表示されるので疑問の解決が早く勉強しやすかったと言っていた。

(2) 教科の自習時間での利用

教科の自習時間（【写真 2】）には、このコーナーは自分のレベルに応じた学習を行えるので便利であったようである。とくに、数学・算数や国語・漢字の問題は答えが瞬時にいたり、ゲーム的要素が多いので人気が高かった。

5. おわりに

自主学習の習慣のない生徒でも手軽に学習できるネットワーク環境があれば、意欲的に自学自習をする生徒がいることが確認できた。今後は、卒業生も利用できるように諸環境の整備も行っていきたい。